

授業科目名 (英文名)	保健体育科指導法 (Teaching Methods of Physical Education4)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	4年次・前期
担当教員	森 寿仁	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では、保健体育科指導法 から で学習した内容をさらに深めていくとともに、教育実習へ向けてより実践的な保健体育教師としての力量（指導力）を高めることを目的とする。</p> <p>本講義の到達目標は、1) 学習指導要領における保健体育の目標及び主な内容、並びに全体構造を理解すること、2) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した学習指導案を作成できることである。</p>		
講義内容・授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 本講義の目的と到達目標の説明 2. これからの保健体育教師への期待と役割について 3. 仕事としての保健体育教師 4. 保健体育科の教育実習の目的と意義 5. 保健体育の授業における学習計画・指導案の作成 6. 保健体育の授業スタイルと教授技術（情報機器の利活用法も含む） 7. 教材づくりの視点とよい教材について 8. 教材研究（体育） 体づくり運動と保健の関連から 9. 教材研究（体育） 器械運動の実践的指導法 10. 教材研究（体育） 陸上競技の実践的指導法 11. 教材研究（体育） 球技の実践的指導法 12. 教材研究（保健） やる気を引き出す保健授業の工夫について 13. 教材研究（保健） 健康の保持増進について 14. 教育実習に向けての問題点と課題について 15. まとめと評価（到達度の確認） 		
テキスト	めざそう！保健体育教師 朝日出版社		
参考文献	中学校学習指導要領解説 保健体育 文部科学省 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 文部科学省 保健科教育法入門 大修館書店		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準</p> <p>教育実習に必要な知識を修得し、教育現場の状況を理解するとともに、実践的な保健体育教師としての力量（指導力）を高めることができた者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力など）の到達度に応じてS（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）による成績評価のうえ、単位を付与する。</p> <p>成績評価の方法</p> <p>模擬授業（40%）、学習指導案（30%）、レポート（30%）および受講態度から総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>保健体育科指導法 ・ ・ を受講しておくこと。</p> <p>・ 授業中に指示した宿題や事前・事後学習について、十分な予習・復習をして講義に出席するとともに、学校教育に関するニュースなどは積極的に収集するようにしてください。</p> <p>・ 新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		

